

2022  
April

広報

このまちを、もっと好きになる

4

ふくちやま

No.1111

Fukuchiyama City Public Relations

いがいと!

福知山

今年で市制施行  
85周年

1111回目も、真心を込めて。

P.2-7

特集

広報ふくちやま

1111号の歩み

P.8

「鉄道のまち」を体現する 新たな鉄道館  
令和5年夏ごろ、オープン

P.12-13

新作能「光秀」、福知山城で上演

三段池公園猪崎城跡から市街地を望む  
(令和3年4月撮影)

## 広報ふくちやま73年の歩み

広報ふくちやまの創刊は、今から73年前の昭和23（1948）年12月1日のこと。この年には、福知山市出身で名誉市民でもある故芦田均氏が内閣総理大臣になっています。また、芸能界では歌手の美空ひばりさんがデビュー、世界では、国際連合で世界人権宣言が採択された年です。広報ふくちやまは、「市民告知板」としてスタートしました。

創刊号には、市民の皆さんへの納税のお願いや国民健康保険に関する注意、「鼠族を退治ませう！」（※原文ママ）とネズミ駆除を呼びかける記事などが4ページにわたって掲載されています。中にはお正月用の酒の配給についての記事もあり、戦後間もない当時の生活の一端をうかがうことができます。

## 市政のあゆみから 広報ふくちやまへ

昭和27（1952）年4月1日発行の第76号から、市制施行15周年を記念し「市政のあゆみ」に改称。名称は市民公募で決定しました。

現在の「広報ふくちやま」になったのは、昭和46（1971）年4月1日の第362号から。

以後、発行形式やデザインは変えながらも、現在まで引き継がれ、市の情報を皆さんにお伝えし続けています。

## 広報紙は時代を物語る

昭和20年代の広報誌には、ハエやカの駆除の呼びかけが多く見られ、「道路で小便をしない」などの文言もあり、公衆衛生が重要な課題だったことが読み取れます。

広報ふくちやまは、今月号で1111号。おなじく4月に福知山市市制施行85周年を迎えたことを記念し、今月号では、広報ふくちやまの歴史と市民のみなさんがどのように受け止めているのかを特集記事にしました。

図 秘書広報課 (TEL 24-7000・FAX 24-7023)

## 特集 広報ふくちやま

# 1111 の歩み

記念すべき第1号は「市民告知板」として昭和23年12月に発行されました。劣化したため原本は失われ、現在はコピーしたものを書庫に保存しています。



## 1937 広報ふくちやまの歩み

**昭和23年～24年**  
市民告知板

**昭和24年～27年**  
市民告知板

**昭和27年～34年**  
市政のあゆみ

**昭和34年～35年**  
市政のあゆみ

**昭和35年～37年**  
市政のあゆみ

**昭和37年～39年**  
市政のあゆみ

**昭和39年～46年**  
市政のあゆみ

**昭和46年～51年**  
広報ふくちやま

**昭和51年～平成元年**  
広報ふくちやま

**平成元年～4年**  
広報ふくちやま

**平成6年～8年**  
広報ふくちやま

**平成8年～12年**  
広報ふくちやま

**平成12年～28年**  
広報ふくちやま

平成29年からは現在のロゴを使用しています。



昭和30～40年代からは市の発展が大きな関心事になっており、人口十万人都市という言葉がよく見られます。また、「合成洗剤をやめて水や石けんで洗おう」と呼び掛ける記事もあり、環境汚染への意識が高まっていた時代背景が見えてきます。

また、現在の市役所庁舎や文化・スポーツ施設、公園、道路など今も利用されている施設のオープンを次々と、華々しくお知らせしています。広報ふくちやまは、その時々福知山の出来事や動き、社会の空気を刻み込んできました。

令和4年 2022	福知山市制施行85周年 広報ふくちやま1111号
令和3年 2021	1月、全面リニューアル、全ページフルカラー化・月1回発行に
平成29年 2017	11月1日、1000号突破
平成26年 2014	表紙・裏表紙など4ページをフルカラー化
平成25年 2013	11月1日、福知山市・三和町・夜久野町・大江町が合併。同日15日、800号突破
平成18年 2006	1月、福知山線開通100周年7月15日、700号突破
平成11年 1999	JR福知山線開通100周年7月15日、700号突破
平成4年 1992	B5判・1色刷りからA4判・2色刷りに変更
昭和57年 1982	11月18日、500号突破
昭和46年 1971	4月15日、362号で「広報ふくちやま」に改称
昭和27年 1952	4月1日、市制施行15周年に合わせ、市民告知板から「市政のあゆみ」に名称変更
昭和23年 1948	12月1日、市民告知板創刊
昭和12年 1937	福知山市制施行

# PlayBack

## あの頃の広報ふくちやま

過去の広報紙から抽選で3号をピックアップし、どんなことをお知らせしていたのかをご紹介します。

### #245



市政のあゆみ 245号 全8ページ 昭和36(1961)年8月1日発行

#### 厚生会館の着工や、長田野での大規模な映画ロケ

トップ記事では、厚生会館の着工を完成予想図とともにお知らせしています。現在、設備の老朽化などで議論が進んでいる厚生会館は、市の文化拠点としての期待を受け、昭和37(1962)年に完成しました。

その他、小児マヒの流行による生ワクチン投与の開始、豊岡市出石町につながる登尾峠のトンネル工事の着工、大江山赤石岳付近をキャンプ場として売り出していくという決定、長田野自衛隊演習場で10日間にわたり行われた大規模な映画ロケのレポートなどが掲載されていました。この映画は三隅研次監督『釈迦』という作品で、長田野に巨大な魔人像や神殿など壮大なセットが生まれ、崩壊するシーンが撮影されました。ロケ地はその後、長田野工業団地へと整備されていきます。

### #302



市政のあゆみ 302号 全6ページ 昭和41(1966)年5月16日発行

#### 進むインフラや公共施設整備と市の発展

表紙は三段池公園。かつて三段池を望む高台に大きなすべり台があり、子どもたちが列をなして順番を待っている様子が写っています。よく見ると、すべり台の上もぎっしり行列になっています。それでも楽しそうな声が聞こえてきそうです。今も昔も子どもたちが遊ぶ場として、三段池公園が親しまれてきたことが分かります。

中面では、“豊かで住みよい文化の高い市づくり”の実現を目指した昭和40年度の市政の成果を写真とともに振り返り、道路や鉄道整備、産業振興、教育や住環境の整備などが順調に進んでいると紹介しています。

その他、養蚕の呼びかけ、自動車が増え交通事故も激増しているという注意喚起、明治初年に撮影された福知山城の写真などが掲載されています。

### #687



広報ふくちやま 687号 全12ページ 平成10(1998)年6月15日発行

#### 不法投棄の実態やゴミ出しマナーを特集

この時には2色刷りになっています。表紙は茶摘みを体験している遷喬小学校児童たちのまぶしい笑顔です。

「すてたらアカン」という特集記事が生まれ、由良川のほとりで見つかった自家用車やバイクなど衝撃的な不法投棄の現場が大きく掲載されています。ごみの減量やごみ出しのマナーについて、市民の皆さんと話し合っていること、また読者にも考えてみてほしいと呼びかけています。

その他、第8回福知山マラソンの開催、ポンチ・フェスタに俳優の豊原功補さんが出演すること、虫歯の予防方法などが掲載されています。

## 広報ふくちやま 特集記事への声



2021年8月発行

特集「素敵な健口生活」では、オーラルフレイル予防と口腔ケアについて、読みながらでも実践できるものを中心に紹介しました。

【読者の感想】「口腔ケアの大切さを改めて感じた」「オーラルフレイルを初めて知った。両親に教えて、口腔ケアしてもらおうようにする」「ケアが不十分だったと知れた」「今日から歯間フロスを使います」「熱中症予防の記事は小学生の子どもにもわかりやすかった」



2021年11月号

女性の起業家を特集。特集タイトルやデザインは女性ファッション誌を参考にしました。

【読者の感想】「起業を身近に感じられた」「自分も頑張ろうと思った」「頑張っている人を応援したくなった」「広報を読んで力をもらった。自分のペースで挑戦していこうと思います」「ストーブ火災の記事で背筋が伸びた。油断せず気をつけたい」



2022年1月号

市内の学生と作成した特集記事。世代ごとに異なる“通学路の思い出”を特集。コロナ禍でもSNSなどを活用し、取材・編集しました。

【読者の感想】「懐かしくて気持ちが穏やかになった」「福知山出身ではないので、この土地のカラーが分かった」「子どもに見せると、全然ちがう！と驚いていました。またこんな記事を見たい」「最近、同窓会のライングループができました。特集を読んで懐かしくなったに違いありません！」



# 広報ふくちやまの 役割

### 市民と市政の橋渡し

市民告知版は、その名の通り、本市の施策を広くお知らせするために作成され、紙面いっぱいにくらしに関わる情報を掲載していました。市政のあゆみへと名称を変更する際、その役割を「市民と市政の橋渡し」と明記するようになりました。さらに、広報ふくちやまへと改称した際には、これまでの発展には市民の皆さんの理解と協力があつたと振り返り、「これからの発展のために、広報紙も

単なるお知らせの記事だけでなく、市が行おうとする事業、施策についてもお伝えしていく」と宣言しています。そして、市民の皆さんに知ってほしい地域や人の魅力、皆さんと一緒に考えていきたいことなどを、できる限りわかりやすく伝える特集記事を組むようになりました。

### このまちをもっと好きになる

平成29(2017)年1月、広報ふくちやま1048号で、誌面全面をフルカラー化しました。

世の中に多種多様なメディアや表現があふれる中で、一人でも多くの人に広報ふくちやまを開き、親しんでもらうためのリニューアルでした。今に続くコンセプトは、「このまちをもっと好きになる」。



広報ふくちやま1048号以来、毎年1月号の表紙は、福知山名誉市民の故佐藤太清画伯の作品を紹介しています。



毎月実施している広報ふくちやまクイズ&アンケートでは、心温まるメッセージや、広報ふくちやまをきっかけに起こったこと、始めたこと、時には厳しいご意見もいただいています。

すべて読み、紙面作りや施策に役立てています。  
※個人情報保護のため、写真はぼかしています。

## YOUR VOICES 広報ふくちやまに寄せられた声

「ちゃんと見ておかなくてはもったいない」と思えるものに大きく変わった。

広報紙全体が明るくなって、どのページも読んでみたいと思える。

月1回発行になり、情報が遅くなるのではと不安もありましたが、早めに情報が掲載されるので色々なイベントに参加しています。

隅から隅まで読んでいます。紙の広報誌を楽しみにしています。

気持ちの入った記事を楽しんでいます。なにより編集部の方の熱意とメッセージが伝わります。

他市の方に広報ふくちやまを見せたら「内容が充実している」とビックリしていました。

以前よりもずっと市民よりになっていると思う。

届くのを楽しみにしています。見やすい、分かりやすい広報誌だと思います。毎月新たな発見もあり、魅力満載です。

パッと読むつもりで開くのに、気づけばいつも最後まで熟読してしまいます(笑)

バラエティに富んでいて良い。さらに発展を重ね、よりよい広報を期待している。

### 【こんな記事が欲しい】

「市役所職員が地域のために頑張っている姿をもっと」「福知山の歴史を連載してほしい」「観光名所やお食事処」「福知山もスポーツが盛んであることをPRしてほしい」「季節ごとの行事やおすすめの場所」「子育てママが行きやすい場所や飲食店」

### 【様々なお意見】

「カラーにする必要はない」「情報量が多すぎる」「希望者のみの配布に」「写真が多い」「文字が多い。もっと写真を」「広報紙は必要ない」「スマホを持っていないので紙が大切な情報源」「読み終わったら捨てるのももったいない」「デジタルと橋渡しになるような紙面に」

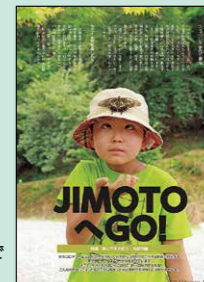
広報ふくちやまはこれからも、皆さんに親しまれる広報誌を目指します

### 企画

新しい取り組みや地域の魅力、市民の皆さんとともに考えたいことなどを、季節や社会のトレンドに合わせて特集やトピックスとして紹介しています。伝えたいメッセージを決め、「どうやったら伝わるか、印象に残るか」を、係員一同、頭をひねらせています。ページ数は各課からの原稿量をもとに決めています。

### 写真

紙面を開きたくなる印象的な一枚や、もっと地域を好きになれるような、その人のファンになれるような素敵な写真となるよう、工夫して撮影しています。



令和3年全国広報コンクール一枚写真の部で全国1位に輝いた、2020年9月号2ページ

### デザイン

一人でも多く広報ふくちやまを開いてもらうには、「読んでみようかな」と思える、ストレスのないレイアウトが重要です。印刷用データの作成や画像編集は印刷会社に外注していますが、職員だからこそ分かる、表現したいイメージや情報の強弱をできる限り正確に伝えるため、パワーポイントなどを使って具体的にデザイン案を作ります。



パワーポイントで編集中の紙面デザイン案



実際に発行された紙面

## 裏側の一部を紹介

ほとんどのページを市役所職員が作成しています。毎月の企画や取材、編集は2人の職員が手分けし、行っています。

読んでみようかな  
読んでよかったと思われる  
広報紙を届けたい

インターネットが普及し、だれでもいつでも、簡単に欲しい情報を得られるようになりました。デジタルでどのように情報を届けていくかは、今後ますます重要な課題になっていくでしょう。

しかし、紙には紙の良さや役割があります。例えば雑誌を開いて、思いがけず新しい情報に出会うことはありませんか。

どれだけ大切な情報を載せていても、見てもらわないと意味がありません。表紙のインパクトや、誌面に使用する写真や文字、デザインにも「どうやったら見てもらえるか」を意識しています。

広報ふくちやまは、紙面を通して、市民の皆さんに予期せぬ出会いや発見、行動のきっかけを届けたい。そして、このまちを好きになってもらいたい。そんな思いを込めて作っています。

これからも、市民の皆さんに「読んでみようかな」「読んでよかった」と感じてもらえるよう、あなたとまちの架け橋「広報ふくちやま」を届けていきます。

## 広報ふくちやま トピックス

### インターネットでも読める

市ホームページでは、平成29(2017)年4月以降の全号をPDFデータで掲載しているほか、近年発行の号はウェブブック化しています。

全国自治体の広報誌が読めるアプリ「マチイロ」でも、最新号を配信しています。マチイロについては右の二次元コードから。



### 自治会長を通して各戸配布

広報ふくちやまは、自治会を経由し各戸配布しています。自治会長や地域の皆さんのご協力のもと、皆さんの家庭へ届けられています。

また、市内の一部のコンビニやスーパー、図書館や公民館などの公共施設でも配布しています。配布場所は右の二次元コードから。



### 読みやすいフォントを使っています

広報ふくちやまでは、読みやすく誤読がないようにデザインされたUD(ユニバーサル・デザイン)フォントという書体を使用しています。下は同じサイズの文字ですが、UDフォントは文字の中に余白があります。

非UDフォント **広報ふくちやま8369号**

UDフォント **広報ふくちやま8369号**

### あなたの写真をプレゼント

広報担当者が行事などを取材する際は、紫色の腕章をつけています。もし見かけたら、素敵な笑顔で撮影にご協力ください。

広報ふくちやまに掲載している写真にあなたが映っていたら、プリントした写真をプレゼントしています。秘書広報課(TEL24-7000)へお気軽にご連絡ください。



37) 7030・FAX 23165  
 問 経営戦略課 TEL 241  
 す。和7(2025)年で  
 役立てられます。

市民の皆さんの生活に  
 関でも広く利用され、  
 か、民間企業や研究機  
 策などに活用されるほ  
 公共団体が実施する政  
 調査結果は国や地方  
 です。の最も重要な統計調査  
 と世帯を対象とする人  
 住んでいるすべての人  
 国勢調査は、国内に  
 りがとうございました。

## 福知山市は総人口減も18〜23歳人口が増 令和2年国勢調査結果が公表

令和2年10月1日に

令和2年国勢調査の  
 詳しい結果はこちら↓



福知山市の人口	77,306人	男 38,504人 女 38,802人
年少人口比率 (15歳未満)	13.0%	(府内26市町中7番目に高い)
高齢化率(65歳以上)	29.7%	(府内26市町中8番目に高い)

※「年少人口比率」とは、人口に対する15歳未満の人口の割合  
 ※「高齢化率」とは、人口に対する65歳以上の人口の割合

### 5年前との比較(平成27年と令和2年)

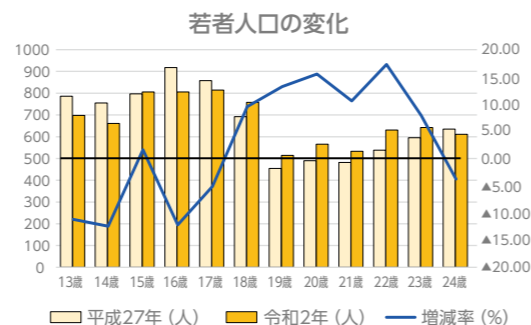
福知山市	人口	世帯数	15歳未満	年少人口比率	15歳~64歳	生産年齢人口比率	65歳以上	高齢化率
令和2年	77,306人	33,632世帯	10,041人	13.0%	42,693人	55.2%	22,974人	29.7%
平成27年	78,935人	32,170世帯	10,917人	13.8%	44,673人	56.6%	22,787人	28.9%
増減率	▲2.1%	4.5%	▲8.0%	▲0.8%	▲4.4%	▲1.4pt	0.8pt	0.8pt

### 18~23歳の人口が増加

平成27年と令和2年の人口を比較すると総人口が減少した一方で、18歳から23歳の人口が増加しています。

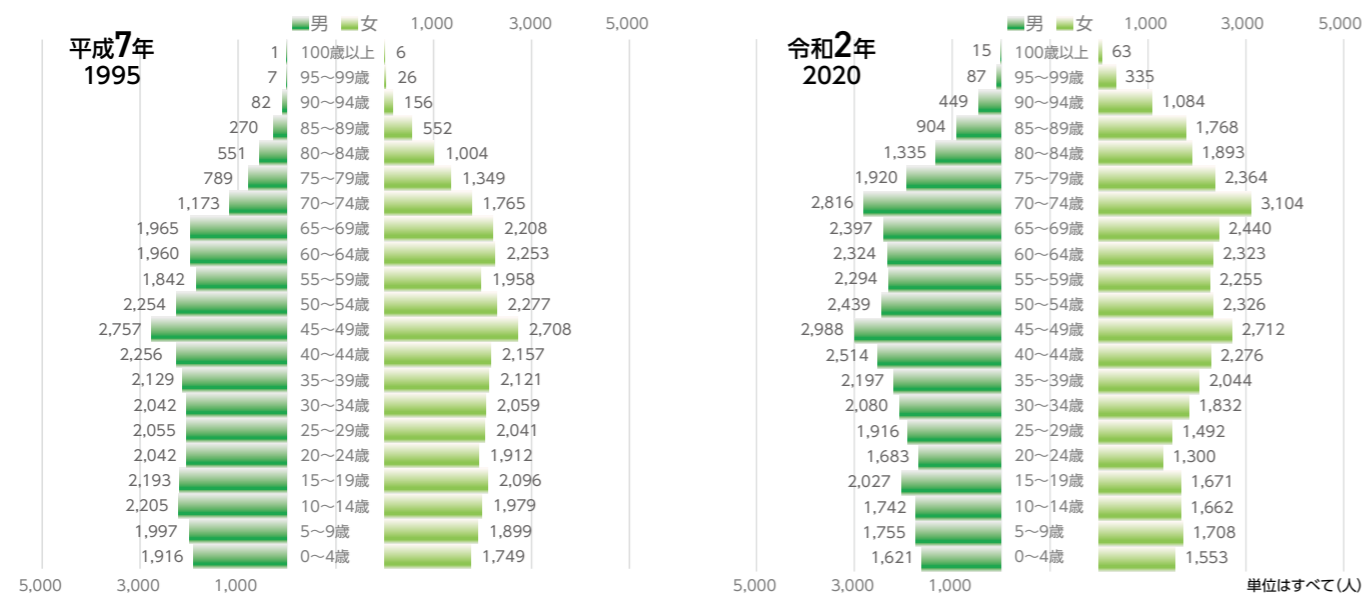
平成28年に福知山公立大学が開学したことで、福知山に住む若者が増加したことが要因と考えられます。

市内で若者が歩いている姿をよく見かけるようになりました。日常で感じられることがこのように数値に現れています。



### 人口ピラミッド 25年前との比較

人口ピラミッドとは、男女別に年齢ごとの人口を表したグラフ。縦軸に年齢、横軸に人口などを図示し、人口構成の特徴や将来予測に使用する。



画像はイメージ。施設名は仮称。

## 「鉄道のまち」を体現 新たな鉄道館を整備

令和5年夏ごろ、オープン

老朽化などで休館中の福知山鉄道館を、新たに福知山城公園内に建設します。鉄道とともに発展してきた本市のアイデンティティとして独自性を表す施設を、体験型コンテンツなども充実させ、整備します。

建設の経緯や計画の概要を2号にわたってお知らせします。

問 産業観光課 TEL 2417077・FAX 2316537

### 建設に至る経緯

福知山鉄道館ポッポランド1号館は、「鉄道のまち福知山」の歴史を伝える施設として平成10年に開館。利用していた建物の耐震性に問題があり、移転場所が確保できなかったことなどを踏まえ、平成29年12月、翌年3月末での休館と、引き続き移転先を検討することを発表しました。

- 平成30年3月 「早期再開を求める請願書」が市議会全議員賛成で採択。福知山鉄道館ポッポランド1号館が休館
- 平成30年6月 鉄道のまちや鉄道館に関するアイデアなどを市民から募集
- 平成30年7月 関係者や市民からなる「福知山鉄道館ポッポランドのあり方検討委員会」を設置。同年11月までに8回の会議や視察を実施
- 平成30年12月 検討委員会が提言書を提出
- 令和元年7月 「文化的価値が失われるのは惜しい」と、新しい鉄道館の建設・運営資金として2億円の寄附の申出。これを受け、新たに建設することについて検討委員会へ説明。商工会議所や学校関係者、障害者団体、子育て世代など様々な関係者に意見を聴取
- 令和元年12月 ゆらのガーデン近接地に建設することなど4つの要件が付された寄附金の受入を、市議会全議員の賛成で可決
- 令和2年6月 寄附の要件を踏まえ、地元説明会を開催。以後、協議を重ね、福知山城公園内での建設が決定
- 令和3年 鉄道館建設にかかる設計を実施
- 令和4年3月 建物建築費、コンテンツ製作費など5億271万円の令和3、4年度補正予算を市議会に提案

### 福知山と鉄道

明治32年、大阪から福知山までの鉄道が開業して以来、福知山は京都・大阪・豊岡・宮津・舞鶴の各方面への鉄道の結節点として、北近畿の産業・金融・物流の集積地として大きく発展しました。

昭和25年、国有鉄道から公共企業体へと形を変える際、全国に置かれた27の鉄道管理局のひとつが福知山に設置されました。昭和41年には、人口の10人にひとりが鉄道管理

局に勤めていたといえます。その後、国鉄からJRに民営化されましたが、昭和58年から平成26年にかけて、総事業費約31.5億円の福知山駅付近連続立体交差事業により、本市と同規模の人口を持つ市では見られないような高架駅が完成。9か所あった踏切はなくなり、市街地の南北がつながることで、現在の市街地が形成されています。

このように、福知山の発展と鉄道は、今でも切り離せないものです。

### 総事業費は約5.8億円 うち本市の実負担額は1.76億円

(単位：千円)

#### 【整備費】

右の表は総事業費の内訳です。財源は寄附金のほか、国・府の補助金など有利な財源を駆使して、市の実負担額を1億7600万円に抑えています。

#### 【運営費】

収支シミュレーションで一定の前提条件を設定し、入館者は概ね年間5万人を見込んでいます。入館料やグッズ販売のほか、企業からの協賛やクラウドファンディングなどの活用も検討し、自立した運営を目指します。

項目	総事業費	内訳		
		執行済の額	令和3、4年度の補正予算額	令和5年度以降執行予定額
建物建築費など	335,016	0	335,016	0
体験・展示コンテンツの製作	167,476	0	167,476	0
建物、コンテンツの設計など	59,695	59,479	216	0
親水広場の再整備など	20,918	5,918	0	15,000
合計	583,105	65,397	502,708	15,000

あなたが写っていたら、  
写真（L判）1枚を差し上げます。  
秘書広報課（TEL 24-7000）まで。



## PHOTO NEWS



### 3/12 処分を待つ廃校備品が宝物に 旧天津小学校で廃校備品の販売会

閉校により利用しなくなった学校備品の販売会を開催しました。2日間で400人超が来場し、学校で使われていた楽器や実験器具など約450点を先着順に販売しました。足踏みミシンなどを購入した土佐伸子さんは「目当てのものが買えました。自宅の工房に飾ります。まるで宝物探してみたい」と笑顔を浮かべていました。



### 3/21 丹波漆の産地・夜久野を伝える 丹波漆の魅力を発信する新商品を発表

ウルシ材と丹波漆を使った漆器、漆染めの織物など丹波漆の新商品が展示・販売されました。器を制作したスタッフは「夜久野が漆の産地であることを表現するため、漆掻きを終えたウルシの木を素材にしました。加工が難しく工程も複雑ですが、それも特徴として、夜久野の漆器を広めていきたい」と話しました。



### 2/23 市とともに福知山平等宣言 福中生がオンラインセミナーを開催

福知山高校附属中学校の生徒と本市が連携しオンラインセミナーを実施しました。LGBTQについての解説や、アウティングが人権侵害に当たることなどを寸劇を交えて伝えたほか、本市職員と意見交換などを行い、「みんなが共に、自分らしく生きられるまちにしていきたいと思います」と呼びかけました。



### 3/12 小学校卒業の記念に桜を植樹 新たに24本の岐阜三大桜が三段池公園に

岐阜県の郡上・桜守の会から寄贈された岐阜三大桜の一つ「莊川桜」と「臥龍桜」の苗木の植樹を三段池RAVIHOUSE大はらっぱで実施しました。小学校卒業を迎える子どもと家族、約30人が参加。温かい日差しの中、家族で苗木の場所を確認しながら土をかけ、桜の成長を願いました。

Follow me!

まちの情報、SNSでも発信しています



## ふくちやまトピックス

### 京都広報賞で知事賞・府民賞など5部門受賞 広報ふくちやま 2年連続府内一

京都府などが実施する「令和3年度京都広報賞」で、本市が5部門（広報紙・一枚写真・組み写真・映像・府民投票）で入賞しました。5部門での同時入賞は初めて。広報紙の部では2年連続で京都府1位となりました。

講評では「内容も充実しており、読者を引き込む力がある。全体を通して編集のルールも安定し、ストレスなく読み通せる」と評価されました。今後も市民の皆さんにとって身近で、分かりやすく、読みたくなる広報を目指します。（秘書広報課）



右) 知事賞を受賞した令和3年12月号。新しいまちの魅力を創り出す市民を特集しました。左) 府民Web投票で一位（府民賞）となった令和3年10月号では、ジビエを特集しました。情報量が多いが、読者の興味を誘うよう工夫されているなどのコメントをいただきました。



映像（委託制作）の部長賞を受賞した動画「光秀マインド」は昨年2月に発表。



写真（一枚写真）の部長賞の令和3年9月号表紙（右）と写真（組み写真）の部知事賞の同裏表紙。夜久野地域の漆掻きの様子を取材しました。

### 4月1日から一律で8時30分開館に 地域公民館・地域体育館が便利に



3月26日（土）に竣工した北陵地域公民館。詳細は次号でお知らせします。

全ての地域公民館・地域体育館を8時30分開館に統一しました。講座や教室など生涯学習活動もさらに充実させ、市民の皆さんにとって身近な学びや交流の施設としてサービス向上を目指します。サークル活動や自治会活動などにぜひご利用ください。（中央公民館）

### ICT達人教師を認定 本市のICT教育をリードする人材を育成

3月1日（火）、本市教育委員会は、市立小中学校でのICT活用を促進するため、今年度から「ICT達人教師」認定制度を創設しました。これは、本市のICT教育の推進に貢献した教員を認定するものです。一人一台タブレット配備を機に本格化したICT教育をリードしていく

人材として、今後のさらなる活躍が期待されます。この日、オンライン認定式を行い、9校10人がICT達人教師に認定されました。端野学教育長は、認定教員の名を一人ずつ読み上げ、「教育現場でのICT活用への推進に力を発揮してほしい」とエールを送りました。



ビデオ通話ツールを使った認定の様子。ICT達人教師には、実践とともに、現場の課題を教育施策に反映する役割も期待されています。

認定された教員たちは、「大きな変化の時期。教員同士で共に学び、助け合いながらICT活用を進めたい」と語りました。（教育総務課）

### 「広報ふくちやま」への広告を募集中です

掲載料金（税込）  
1枠 8,800円  
2枠 17,600円

福知山市内  
全戸配布！  
32,900部発行

→ 詳しくは、秘書広報課（TEL24-7000）へ



















シリーズ

福知山の文化  
収蔵資料紹介 ㊦

武

日本の 交 物 所蔵



【狂言面 武悪】  
制作者 森紫鳳

狂言で使用される面は女面・老人の面など約30種類あり、表情は人間味が濃く、なごやかという共通点があります。一説によると、能面制作に神経を張り詰めていたとある能面打ち師が、仕事の合間の息抜きにゆとりをもって制作したものが狂言面の最初といわれています。

狂言面のひとつである「武悪」は、上歯で下唇を噛みしめて食いしばり、目じりは下がって上目遣いの表情が特徴です。現存する武悪面は篠山能楽資料館蔵の「小桜武悪」（室町時代前期）が最も古いといわれています。

演目における武悪面は鬼や閻魔大王の役柄で用いられ、人間を威嚇する恐ろしさはあるものの、人間と同じように泣き笑う存在としても描かれています。例えば、空から落ちて腰を痛め、ヤブ医者に治療してもらう雷様（演目・神鳴）や、人間が賢くなつてみな極楽へ行ってしまうため、罪人を地獄に落とそうとするが失敗してピンチに陥る閻魔（演目・朝比奈）など、怖いイメージではなく滑稽な役柄です。

写真の武悪面は日本の鬼の交流博物館に寄贈されたもので、作者は能面・狂言面・創作面を制作している森紫鳳さんです。丈222mm・幅190mm・厚さ125mm、木彫りの面で赤色の彩色が施されています。武悪の目尻が下がって唇をかみしめる特徴をとらえており、愛嬌ある表情に親しみを感ずります。日本の鬼の交流博物館で常設展示していますので、ぜひご覧ください。

文化・スポーツ振興課

TEL. 7065・FAX. 9577

ふくちやまに  
ドッ恋セ。

(編集後記)

今月号は、「広報ふくちやま」の歩みの特集しました。今月で1111号。戦後間もない頃から続く、歴史ある冊子を担当させていただいていることに改めて責任の重さを感じながら、ゾロ目号を担当できたことをこっそり喜んでいました。ノバックナンバーをランダムで読み漁っていると、「ええ！そうやったん！」と驚くような話や、「今ではこんな表現ありえへん...」というツッコミどころが次々に飛び出してくるので、止め時が分からないくらい、まさに「沼」でした。タイムマシンに乗ったような感覚を皆さんと共有したいと思い、プレイバック企画として、ランダムで選んだ号を紹介しました。デジタル化に突き進む現代ですが、いつか私が担当した号も、こんな風に振り返ってもらえることがあればうれしいなと、担当者としては思うのです。ノ今年も京都広報賞知事賞を受賞することができました。取材や編集などでお力添えをいただいた皆様に心より感謝いたします。ありがとうございました。これからも「広報ふくちやま」をよろしく願っています。(吉良)

Q  
クイズ &  
アンケート

クイズに正解し、アンケートに答えていただいた人の中から抽選でプレゼントが当たります。

今月のプレゼント

非売品 福知山城の  
石垣Tシャツ (Mサイズのみ)  
..... 3名様



▶ クイズ ○○に入る数字をお答えください。

今月号は広報ふくちやま○○○○号

▶ アンケート

- 問1 今月の「広報ふくちやま」でよかった、ためになった、おもしろかった記事とその理由を教えてください。  
問2 今月の「広報ふくちやま」をきっかけに行動したこと、しようと思っていることがあれば教えてください。

▶ 応募方法 4月28日(木) 締切 (消印有効)

- ①クイズの答え ②郵便番号・住所 ③名前 (ふりがな) ④年齢 ⑤電話番号 ⑥アンケートの回答 を書いて、下記の方法でご応募ください。右下の二次元コードからも回答できます。

<ハガキ> 〒620-8501 (住所記載不要)  
福知山市秘書広報課「広報4月号クイズ」係  
<メール> hisyo@city.fukuchiyama.lg.jp  
件名を「広報4月号クイズ」としてください。



個人情報は賞品の発送にのみ使用します。 当選者の発表は、賞品の発送をもって代えさせていただきます。 応募は一人一通まで。 お寄せいただいたご意見やご感想は、匿名で広報誌やホームページなどに掲載することがあります。 アンケートやご意見の内容は抽選に影響しません。

3月号のクイズの答えは「減塩」でした。たくさんのご応募ありがとうございました。